

第2回 港湾における i-Construction 推進委員会 議 事 概 要

日 時：令和3年2月10日（水） 13：30～15：30

場 所：（一財）港湾空港総合技術センター 2階会議室 および Web 会議

1. 主な議事

○事務局より、本年度の i-Construction に係る取組結果等について報告・説明を行った後、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

○港湾工事の機材は、使用台数があまり多くないことや、輸入品の占める割合が高いことなどから、メーカー単独では技術開発が進みにくいので、ハード・ソフトを含めて国などの発注者側においても技術開発を行い、それを受注者が使用するというような方法等も含めた取組を望む。

○マルチビーム測深データのクラウド処理システムは、AI 処理と組合せるとノイズ処理にさらに効果的であり、また測量作業の効率化だけでなく、施工中における浚渫や石材投入の出来形の随時での確認など、施工管理においても効果的と思われるので、今後の実用化を望む。

○ICT・BIM/CIM 活用工事や業務においては、従来方式との重複等によって非効率となっている事例もみられるので、今後改善を図っていくことが必要。

○情報プラットフォームについては、本年度に構築したプロトタイプモデルからの課題を踏まえ、工種の拡大や他現場への適用など、将来的な展開を検討していくことが必要。

○陸上で製作されたものなども含めて海域に構築することが港湾工事の特徴なので、海域以外で行われる工種を含めた施工プロセス全体での ICT の導入・活用方策についても、ロードマップに記載すべき。

○ICT・BIM/CIM の導入や活用の視点から現行の出来形管理や検査等の要領をみると、方法等を変えたほうが適切なものなどが結構あると思われることから、そのような観点からの検討も必要。

○人材育成の観点から、発注者向けだけではなく、国等の公的機関による受注者向けの ICT・BIM/CIM をはじめとする i-Construction に係る研修会・講習会等の実施を望む。

以 上